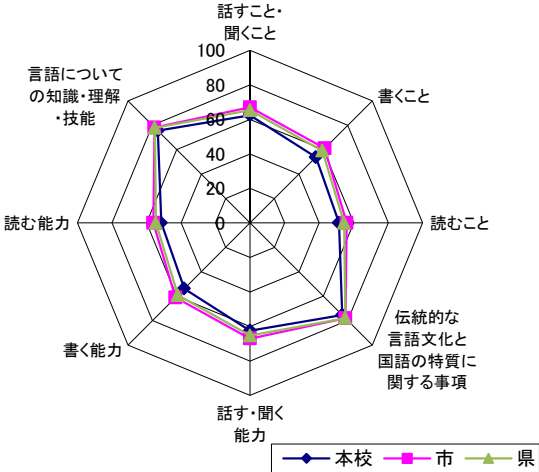


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	62.4	67.0	65.3
	書くこと	53.9	61.1	59.2
	読むこと	51.5	56.0	54.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.5	78.2	78.0
観点	話す・聞く能力	62.4	67.0	65.3
	書く能力	53.9	61.1	59.2
	読む能力	51.5	56.0	54.5
	言語についての知識・理解・技能	75.5	78.2	78.0
内容	総合（教科全体）	62.8	67.0	65.9
	基礎（基礎・基本）	68.5	72.0	71.1
	活用（思考・判断・表現）	44.8	51.2	49.5



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●話すこと・聞くことについての正答率が県の平均を2.9%下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・普段の授業の中でも自分の意見を整理して発言することや、相手が伝えたいことをきちんと理解できるようにしていく必要がある。また、今後も聞き取りテストの実施を継続して行い、話の要点や要旨を的確に把握できるように指導していきたい。
書くこと	●文章の書き方の工夫について記述をする設問の正答率が9.7%と低く、無回答も多くみられた。	・与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいか等、授業や作文指導の中で継続的に指導していく。そして、様々な表現技法や文章表現力等の基礎的な学力を身に付けさせ、文章読解に対する全体的な理解力を高めていく必要がある。
読むこと	●場面の展開や描写を基に、登場人物の人物像を把握する設問の市町村との差が5.3%である。	・説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるように指導していきたい。また、文学的文章の内容理解については、登場人物の心情の読み取りが的確にできるよう指導していきたい。そのためには、多くの文学作品に触れさせ、様々な考え方や捉え方があることに気づかせていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読み・書きについては、他の領域に比べると75.5%と正答率が高い。過去2年と比べ、約15%高くなっている。 ●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題を問われているにも関わらず、現代語訳を書いてしまう生徒が多い。	・漢字の読み書きに関しては、定期的な漢字テストの実施等で、基礎的な力の育成を継続して行っていきたい。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てていきたい。文法問題に関しては、単語や文節、品詞の区別等基本的な理解が不十分であるので、繰り返し指導していく必要がある。